

- 生活支援  見守り  協議体
- 買物支援  配達  その他
- 移動支援  居場所づくり

## 地域の概要

人口：161人  
 高齢化率：44.10%  
 生活の中で住民同士の繋がりによる助け合いがみられたり、集落行事がさかんで、子どもから高齢者まで一緒に参加されている。



## 取組のきっかけ

以前から、近隣の地域では見守り活動に取り組まれていたことをきっかけに、住民同士で自分たちの集落でできることを話し合い、見守り・生活支援を行う活動グループが発足し、現在はメンバー25名で活動を行っている。

## 取組の目的

- 高齢者の見守りや生活支援
- 高齢者の外出のきっかけや交流の場づくり
- 次世代と交流の場づくり
- 地域活性化

## これまでの経緯

| 年・月       | 出来事  |
|-----------|--|
| 令和2年12月   | 活動に向けての話し合い  |
| 令和3年1月    | 住民主体で見守り・支え合い活動を行うグループが発足  |
|           | 毎月1回定例会を開催し、活動報告や困りごとの共有しながら活動している   |
| 令和5年4月    | 活動協力者が新たに4名加入  |
|           | ゆらい場の設置  |
| 令和6年4月    | 定期的に毎週金曜日（14時～16時）にゆらい処にて高齢者とお茶会を開催し、交流の場となっている。認知症の方や、男性高齢者の方の参加もあり交流できている。 |
| 令和6年4月    | 以前より取り組んでいる夜間火の用心、パトロールを継続して実施している   |
| 令和6,7年8月  | 80代高齢者宅、14世帯に七夕飾り、飲料水を配布   |
| 令和6,7年12月 | 80代高齢者宅、11世帯に正月用食料品、日用品配布  |

## 活動の概要

活動内容：生活支援（ゴミ出しや自宅の掃除）、ゆらい場「ゆらい処はまゆう」（毎週金曜日2時から4時迄交流の場として実施）、夜間火の用心、パトロール見守り、次世代との交流イベント、美化活動（公共トイレ掃除）、買い物代行支援



## 取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

### 〔行政担当者としての役割〕

- 地域包括支援センター発行の「どくさだより」にて活動の周知
- 世話焼きさん（地域福祉推進員）との情報共有

### 〔SCとしての役割〕

- 活動状況の把握・情報発信
- 地域が自発的に活動していることの把握・連携と協力体制づくり

## 現時点での到達点（効果・課題など）

### 〔効果〕

- 高齢者とゆらい処でお茶会・交流をすることで外出のきっかけづくりができ、社会参加の場となっている。
- 子どもの下校に合わせて、声掛け、見守りができている。交流イベントの開催で地域に活気が出た。ゆらい処へ男性が参加しやすい雰囲気になった。見守ったり、見守られたり支援活動に繋がった。
- 移住者の交流の場へ積極的に参加、協力体制ができ、人とのつながりができた。

### 〔課題〕

以前からのおつきあいで移動支援等ができていたが、新規での依頼があった場合の今後の課題が予想される。